

# JOFI OSAKA

JAPAN OFFICIAL FISHING INSTRUCTOR OSAKA

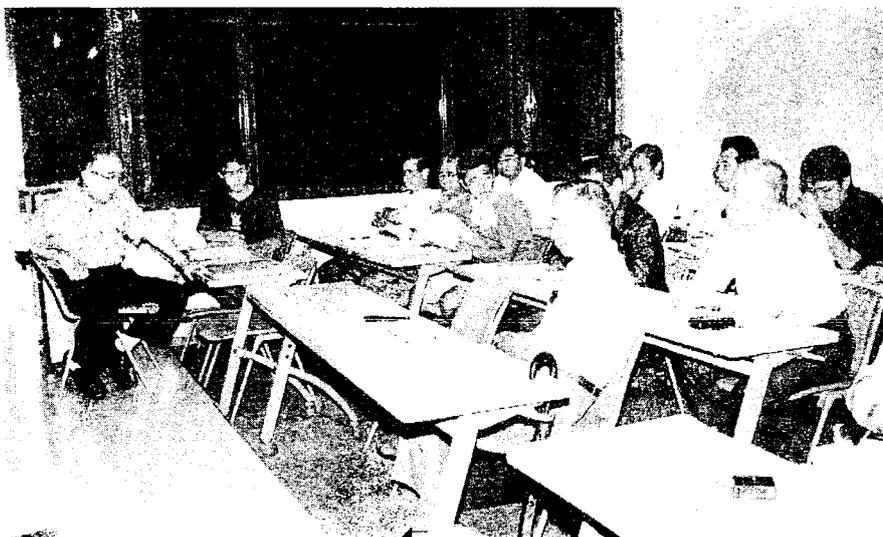


ジョフィおおさか

2001年(平成13年)12月11日

発行者/大阪府釣りインストラクター連絡機構・広報部編集委員会  
 大阪市中央区東心斎橋1-9-21ニュー長堀ビル3階34号 大阪府釣り団体協議会・本部内  
 TEL.06-6245-4800 FAX.06-6245-1360

# VOL.9



## インストラクター 研修会

# 水産基本法の概要と

# 外来魚問題について

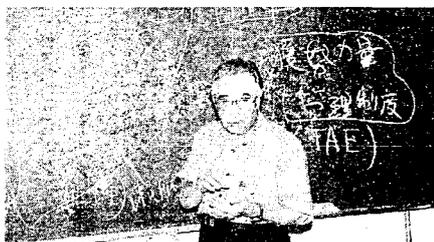
平成13年6月29日、『水産基本法』が成立し、それに伴って水産関連法規が大幅に改められることになった。

## 水産基本法の概要と外来魚問題について

川村孝二

私達釣りインストラクターとしても、是非その概要について学びたいと云うことで、8月3日、ヒューマン・アカデミー大阪校に於いて、水産法規に高い見識と関与をされている、采田副会長に講師をお願いして30余名の会員の参加を得て、時間一杯に亘っての熱心な聴講と質疑や討論が行われた。

新たな秩序の下で、21世紀を展望した政策体系を確立することにより国民は安全と安心を、水産関係者は自信と誇りを得て、水産者と消費者、漁村と都市の共生を実現することを目指して、水産基本法が制定されることになった。



### JOFIおおさか 会員在籍者数

海水面	185人
内水面	40人
計	215人

(平成13年6月1日現在)

## 2002年 新春懇親会 開催のご案内

とき 平成14年1月15日(火)  
午後6時30分より

ところ 大阪梅田ヒルトンホテル 4階  
『金山の間』

大阪市北区梅田1-8-8 (JR大阪駅前) 06-6347-7111

かいひ 10,000円(当日会場で受付)

(同封往復はがきで、ご案内させていただいています。出欠の返事は年内着でお願いいたします。)

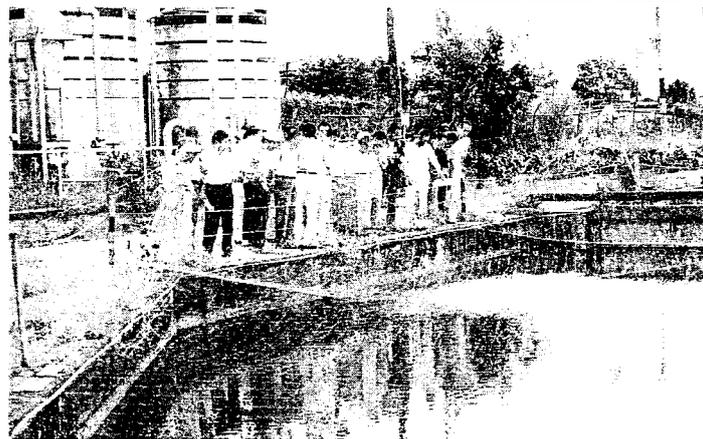
例年どおり、各界からも参加されますので釣り業界最前線のお話が聞けるとともに、交流の輪を広げましょう。また、豪華賞品を取り揃え皆様の参加をお待ちしています。

# 大阪府立淡水魚試験場を見学

# 研修会報告

## 研修会に参加して

近藤 幹雄



各地で取水制限が叫ばれている、8月12日暑い(熱い)昼過ぎ仲間と共に大阪府淡水魚試験場へ到着。事務所横の堀では大きなチョウザメ、草魚、鯉等の出迎えを受け暫しの涼を取り一服。

当日は矢田場長、大阪府農水課森課長補佐の講議の後、場長の案内で場内見学し研修会は終了。

が、私は当日、場長の約2時間及びぶ熱のこもったお話の中で日頃、当然の様に眺めていた満々と流れる淀川の水、お話しによれば枚方大橋のあたりでの流量は2901、5もあると云う。そして、我々人間はその46%の量を

## 淀川の魚について

近藤 眞五

取水し色々活用して居るのであるが、その46%の中にも含まれる、H2O以外の上流からもたらされ下流に棲む小魚等の食糧をも摂取(窃取)しそれをゴミとして処分して居ると云う。毎日蛇口をひねればマズイけれど水は出て来る。真に目から鱗の一日であったのは私だけであろうか？

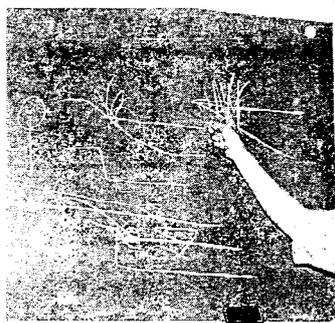
平成13年8月12日JOFI大阪研修会、大阪府立淡水魚試験場で行われました。大阪府環境農林水産課長補佐森氏の挨拶、大阪府では外来魚の移植が平成12年5月1日から禁止されましたが外来魚の生態系攪乱は、漁業に大被害をおよぼし漁業権魚種は考えていない。移植の禁止、外来魚の駆除は天然記念物や漁業権操業に被害をもたらした場合、駆除に努めるそうです。大阪府立淡水魚試験場場長矢田敏見講師によると昔、淀川は潮汐の影響を受け淡水魚には棲みにくい水域だったらしく、マス、アユ、そしてシラウオ、スズキ、ボラ、クロダイ、雑魚に混ってイワシも漁獲されこの潮汐の影響を防ぐために大正三年に長柄起伏堰が設置されたが、昭和十三年頃までスズキ、ボラ、ハゼ、シラウオの海の魚族も漁獲対象になっており豊富な漁獲資源が存在したことが認められ、しかし昭和30年頃の漁獲量は昔に比べて半分近くに減少し、昭和40年頃になると、フナ、エビの魚獲量が増え全体的に増加するものの雑魚の急減が著しい、その後、年と共に漁獲量は減少し、平成4年5年には芥川などで放流されるアユを除いて

いなくなっている。これは昭和30年から40年前半に起った本流域での水質汚濁が引き金となり魚類資源と漁業者の減少を引き起こした原因となっている。この頃の水質汚濁は現在では考えられない程ひどく本流域で魚のへい死事故が起きたことがわかり、その最も大きな原因は、世の中の経済的な豊かさに伴う食生活の変化により、太古の昔から身近に存在し地域の人々の生活を支えて来た淡水魚がかえり見られなくなったためであろう。

近年では、淀川の漁業者は無に近く漁獲資源の管理を行う人も地域社会も漁業組合もない。このため大形のコイ、フナが増加で次世代を担う稚魚が育たず又、オオクチバスの侵入を許しその食害で小型魚族の減少を引き起し魚の社会構造も大きく変化し水中生態系に大きな混乱をもたらしているのが現状のようです。淀川を昔にもどすには、漁業による資源管理の復活、重要な課題で身近にいる淡水魚を食物として利用し市民社会の再築が一番望ましいでしょう。



天然記念物のアユモドキに關しては生息状態も確認不足で、減少したのはたしかだそうです。又サツキマスも毎年放流して



おり近々魚類生息環境調査をするらしく大きい期待したいです。大阪府特産魚カワチブナはヘラブナの名で釣り人に親しまれています。矢田先生の案内で場内見学、淡水魚展示室、イタセンバタなど希少魚の保護増殖池やコイ、ヘラブナの大池を廻りました。参加者二十七名

## お知らせと訂正のお願い

### 人事

【理事会】 理事 北田敬明  
【監事会】 北田敬明

この度、北田敬明氏にJOFI大阪の役員に就任していただくことになりましたのでお知らせいたします。

VOL. 8号の4P

高淵 諒様の電話番号の誤記訂正の御願い

正 072417413741  
誤 07417413741  
2が抜けております

# 稚魚放流 淀川クリーン ファミリー釣り大会

## 活動報告

### 「大阪湾チヌ稚魚放流事業」に参加して

松尾 勝士

チヌの稚魚放流が8月30日、うす曇りの大阪湾で行われ、私も手伝いのために参加した。昨年につづき2回目の参加である。

ご承知のように、この事業は大阪府釣り団体協議会と日本釣振興会大阪府支部が「チヌの海ふたたび」を合言葉に、1983年から毎年実施しており、今年で19回目を迎える。

昨年同様、関係者らは大阪北港と大阪南港からの各渡船組と堺地域組の3者が堺市塩浜町の堺新港で合流。堺新港には、大阪・泉南の岬町にある大阪府栽培漁業センターからトラックで、4、5センチに育った稚魚3万匹（昨年は4万匹）が既に到着。

各報道機関が取材する中、日本釣振興会大阪支部・副支部長のあいさつ等のあと、来田JOFI大阪副会長の説明に基づき、主催団体のメンバーとJOFI大阪所属公認インストラクターI、さらに今年は守口市の大阪国際大和田高等学校の生徒さんの協力もあり、関係者ら65人がバケツリレーとホースでトラックの水槽から大阪府船舶業協同組合渡船3隻のいけすへ。その後、



堺市沖、岸和田市沖、大阪南港、大阪北港など大阪湾沿岸に放流した。放流した稚魚は、累計で102万匹になるそうである。

### チヌの海ふたたび



大阪湾に稚魚放流

(日刊スポーツ H13. 8. 31)

### 大阪湾で稚魚放流

合言葉はチヌの海ふたたび

「大阪湾で稚魚放流」の活動報告。大阪府船舶業協同組合渡船3隻のいけすへ、関係者ら65人がバケツリレーとホースでトラックの水槽から稚魚を放流した。放流した稚魚は、累計で102万匹になるそうである。



(週刊つりニュース H13. 9. 14)



### 淀川「わんど」クリーン大作戦に「参加して」

吉田 天三



7月20日、朝より今日も暑くなりそう、雲一つ無い澄き透る様な青い空の中、淀川わんどクリーン大作戦に参加するため、9時30分頃に会場の淀川河川敷城北ワンド地区の集合場所に着く。

先に来られていた方や、後に来られたJOFI大阪の方達と、挨拶や近況話を話して楽ししい一時を。作戦開始の10時になり、主催、後援、協力、参加パートナーティ、各調査部門の指導者の皆さん方の紹介があり、その後、今作戦本題のゴミ集めが30分間の予定で始まった。各自ゴミ袋を手に、ゴミ集めに散らばって行った。

やはり多数の参加者で集められたゴミの量は多大な量になりました。ゴミの大半は、俗に言う家庭ゴミで、買い物袋、ペットボトル、缶類などでした。我々釣をする者としては、釣人の出すゴミが少なかったのが何より救いがあった思いがしたが、もしこれが海岸

### 大阪府ファミリー釣り大会 釣り場の清掃や審査に協力

濱上 勲

10月21日 泉佐野食品コンビナート護岸で、好天に恵まれ、今年もエントリー1350名以上の参加の中で行われました。巡回中は釣れない、釣れないの声がりましたが、アジ、イワシ、スズキ、チヌなど、沢山の魚が計量に持ち込まれました。

一方釣り場の清掃の方も、インストラクターが先導し、写真の様に大人から子供さんまで協力が有り、有意義な楽しい一日を過ごしました。



# 活動報告

## 平成13年度 公認釣りインストラクター講習会模様

2001年10月27日(土)、10月28日(日)の2日間、平成14年度フィッシングインストラクターの試験に向け大阪市北区のヒューマン・アカデミー大阪校で受講生69名(海面47名、内水面22名)を対象に講習会が開催されました。



宮内昭雄

総勢15名で会場の設営、受付、出欠の確認等、又、各員得意の釣り分野の講師となり講座を持ちました。

高瀬諒氏は投げ釣り、来田仁成氏は防波堤釣り、森田邦征氏は釣りの総論、物部胤三氏は釣り具用品について、木村章氏は磯釣り、濱上勲氏は船釣り、東野英治氏は淡水の釣り、中出隆文氏は止水の釣りを持ち時間40・70分の間で自分の体験を語りながら、又ある人はビデオを持ち込みながら興味ある講義をされました。いつもなら受講生も眠くなるような時間でも、真剣に聴講しておりました。その他は例年通り気象予報士・芝生知乙氏による気象・海象関係講義、日本赤十字社植田芬治氏による救急措置と方法の講義及びダイマー人形を使つての受講生全員参加による実演、全釣り協専務理事浅野一郎氏による漁業関係法令、全釣り協理事綿井良隆氏によるルーアー釣り及び全釣り協幹事木村誠三氏、戸波俊二氏の参画、総合司会として佐藤功氏がとりおこない、順調、平穩無事に講習会は終了致しました。

昼の休憩時間には筒井慎氏・大西勇氏の掛け声で、針の結び方、糸の結び方は必ず試験にでるぞ！知らない生徒には教えるよと声を掛けますと、受講生達はぞくぞくと、後に急遽したてた講師の席へ集まってきました。2日間共昼休みというのに、多数の受講生が、針がわりのスプーンや本物の針やテグスを使つて、結び方の実演や8の字結びを教えたりと、フィッシングマスターの人々は非常に忙しくしていました。我々JOFI大阪のメンバーがそれぞれ講師をした事で、受講生が来年フィッシングマスター試験にパスするとJOFI

F1大阪に加入するよう、講義の中で説明できた事は大変有意義であったと思います。

### 第三回岬町「親子海釣り大会」の開催に協力

馬谷昆志



8月5日 泉南地区海岸一帯で岬町マリナーズエステイバル実行委員会主催の「親子海釣り大会」に南部地区所属の釣りインストラクター4名が協力しました。

当日は快晴で、早朝より地元の人達や遠くは奈良や高槻市からの親子連れなど参加者は300名を超える盛況でした。

インストラクターは早朝の受付から釣果の審査「検寸検量」を行ないました。今年は7月中頃からの猛暑続きで例年多い小アジがなく、子供達も苦勞していた。それでもチヌや大型キス、エソなど多彩な魚種で審査はにぎやかに行なわれました。

11時から表彰式が行なわれインストラクターを代表して高瀬 諒氏がスピーチを行ない釣人のマナー向上を訴えました。

その後空クジなしの抽せん会が賑かに行なわれて午後1時に終了しました。

### 「第五回普通救命士講習会」

清水保雄

平成13年8月19日(日)・13時30分～16時30分に大阪市中央区内本町の大阪市中央消防署において本講習会が行なわれました。

本講習会の目的は、応急手当を学ぶ事により、家庭内の不慮の事故やその他の事故のとき、救急現場に居合わせた人々の勇気ある行動によって、傷病者の速やかな社会復帰につながっていくという事にあります。よつて参加者は、JOFI会員17名と、少し定員には満たなかったですが、残暑のなか講師のお話し・実技等を修得しようと全員真剣でした。



私は、昨年にも参加しましたが、時が経てば忘れるもので、毎年受講すべきだと実感致しました。今年参加出来なかつた方は、来年是非ご参加をお勧めします。最後になりましたが、親切御丁寧に私たちをご指導して頂きました大阪市中央消防署・5名の講師の方々に御礼申し上げます。



# 大東市・東大阪市の親子ふれあい ボーイスカウト釣り考查会

## 釣り教室 レポート

### 初めてのつり体験

大東市 名取純子

今回のファミリー釣り教室と釣り大会募集を見て、「やった。」と思いき、5年生の長男と4年生の長女と共に参加しました。長男には機会があれば是非体験させてやりたいかったです。

教室の3回目では、救急蘇生法を消防署の方の指導のもと教えて頂き、実践し、貴重な体験でした。

釣り大会では、道具にさわるのも初めてだったので、インストラクターの方達に準備をして頂き、おっかなびつ



くりで、海中に糸をたらししました。子供達は、何度も竿を戻してはエサをつけ、自分なりに投げ方を変えたりしながら、楽しそうでした。

一時間二時間とたつうちに、子供達の集中力がなくなってきました。そう、魚が一匹も釣れなかったのです。釣りは、朝早くか夕方からが勝負だそう、日が暮れてくると、周りの人が釣れだしました。そろそろくるぞー。新たな闘志を燃やしました。

ラストの延長一時間は、ゲットして帰ると子供達は必死です。あたりはもう真っ暗。やはり、初心者には難しく、結局0匹でしたが、釣りだけではなく、カニやふな虫に喜んだり、海の香り、

水平線のかなたの夕日の大きさに圧倒されたりと、昼と夜の海の顔に、満足して帰路に着きました。

分けて頂いたアジは、せいごと内臓をとり、塩をふって塩焼きにしました。自分で釣ったものなら、もつともっとおいしいんだらうなと思いつながら...

### 釣りを通じて交流深める

大東市立野崎青少年教育センター

増田勝彦

今年で釣り教室、大会も3回目となりました。

当センターでの取りくみの趣旨は、釣り技術の習得はもちろんのこと、自然環境に対する理解を深めていただくことと、参加されたみなさんの交流を深めてもらうことにあります。

さて、今年の釣り大会は例年以上に多くの参加（総勢一〇人以上）がありました。主催者側としては予期していなかったうれしい誤算でした。同時に、これだけの人数が釣り場に入れるのか、お世話できるだろうかと不安になりました。しかし、これもインストラクターのみなさんのおかげで杞憂に終わりました。

当日の淡輪漁港は天気もよく、参加されたみなさんも思いおもいの時間をすごし楽しんでおられました。お父さん、お母さんが子どもと一緒に釣りを楽しんでいる姿は、何ともほほえましいものです。欲をいえば、もう少し魚が早く回ってくれていたら...。こればかりは自然にお任せするしかありませんね。

今後もぜひ教室・大会を続けていきたいと考えていますので、よろしくお願ひします。

### 第6回ボーイスカウト 釣り章講習考查会 柴崎 隆

5年目の第6回になるボーイスカウトナニワ地区スカウト委員会による釣り章の講習考查会を今年も海洋センターにて16名のスカウトの参加のもと無事おこなうことが出来ました。

続けて行くことはいろいろむつかしい事もありますが子供達のためにもガンバッテ続けて行きたいと考えております。今後もインストラクターの皆様との協力をよろしくお願ひします。

### 釣り章講習考查会に参加して

堺第六団 岩井映里香

私は10月21日に、大阪府立青少年センターで行なわれた、釣り章講習会に参加して、当日渡された資料と説明を



聞いてたくさんの魚の名前を知り、又いろんな釣り方があるのだなあと思えました。今まで魚は、お母さんが料理をしてくれる、さんまやぶり、そして私が大好きなまぐろのさしみぐらいで、あまり魚の名前を知らませんでした。資料を見てとてもよくわかり勉強になりました。

私はカブ隊の隊集会で三回サビキ釣

りをしたことがあります。えさをつけるのがいやで、いつもリーダーや、男の子につけてもらっていました。1回目の時は約8センチぐらいのキノシロという魚が一匹だけ釣れて、魚たぐりをリーダーにもらって、チャレンジ章のフィッシュャーマンをもらい、今も大切にしています。2回目と3回目はほうずでした。だから今回魚つりをして初めて魚という魚、いわしが釣れ、しかも6びきも釣れたので、私は大満足でした。ありがとうございまして。とても楽しかったです。

### 東大阪市親子ふれあい 釣り入門教室

親・子・雨とも降れあった実釣指導

山根啓史

6月10日、24日、7月8日、22日の4日間、親子のふれあいを目的とした釣り教室が開催された。6月10日、7月8日の2日間は室内での講義。子供たちには退屈させない内容で、仕掛けづくり、釣り具の扱い方、人工呼吸などの実技を中心にした。6月24日は豪雨の中、明石市大蔵海岸で実釣指導。この日は26組92名の参加で釣り場はほぼ独占状態となった。釣果もガシラやアブラメなどが顔を覗かせ、ほとんどの家族がポーズなし。7月22日も同一会場であったが、前日は予期せぬ花火大会の事故。強行の中、20組54名が参加してくれた。

大変な猛暑であったがアジやガシラが退屈しない程度に釣れ、家族の良い思い出となったに違いない。スズ濡れと炎天下のもと、親・子・スタッフが三位一体となつてふれあった。

# 和東町・枚方市・交野市・大阪市西区・泉佐野市 各地区釣りの集い

## 釣り教室 レポート

### 「千早赤坂村のマス釣り」

和東町つり教室に参加して

八幡全つり協 続木

八幡全つり協(吉川会長、山田、中田、続木)のメンバーが、京都和東町釣り教室でのお手伝を始めて、4年目(一年一回)になります。

過去には、鳥羽、天の橋立、尾鷲方面の海釣りに、一泊二日のキャンプにて参加して参りましたが、今回は日帰りの、川釣りの行事となりました。

去年までの海釣りでは釣果は、まちまちでしたが、今回のマス釣りにおいては、参加者(小中学生とその親15名)の全員が少なくとも3〜4匹はゲットしました。

中には10匹以上の人も数名、又寸法も30cm超級もまじり、となりの人と糸が、からんだり、とり込みに一苦労という場面も多々ありました。

エサのイクラを針につけるのも、最初は、指に力が入って、つぶれてしまったりで、うまくいかなかったお母さんや子供達もだんだん上手になり、又、釣った魚を針から外す事も、ほとんどの方が自分でできる様になりました。

ただ針をのみ込んだ魚を外すのは、なかなか大変なようで四苦八苦しておられました。

釣った魚は、各自持ち帰り、天ぷらや塩焼、バター焼等に調理され夕食のおか



ずになりました。大人も子供も無我夢中で小さな浮に集中した楽しい一日でした。

### 手応えが嬉しい

「枚方・交野市民釣りの集い」

JOFI大阪 中出隆文

大阪府渚処理場 安定池にてこの6月3日・8月6日・10日とこの秋10月21日の計7日間、延べ約1200名が参加し、それぞれが釣りを楽しめました。



毎回ながら子供達が、JOFIのメンバーやボランティアの枚方渚釣友会会員の指導を受けながら必死の面持ちで、リールを巻いたり竿をたてて60級の鯉や40にもなるナイルテラピアと格闘している姿を見ると自然と我々の口元も緩みはなして、特に帰り際、子供達が発する「オッチャンとお釣れたで又来るわ!」「おー!良かったな又お出で!」この言葉のやり取りが嬉しく、楽しく何時までも触れ合が続くよう頑張りたいと思います。

最後に非常に残念なことながら長年釣り場として慣れ親しんできた大阪府渚処理場安定池が、来年度の施設拡張工事に伴い池の規模も縮小される事になり、来年以降は「枚方・交野市民釣り教室」の開催も危ぶまれ憂慮する次第です。何とんでも私達JOFIのメンバーが小規模たりとも活動できる場を求めて運動したく思います。

### 西区釣りの教室開催

稲本英爾

8月25日(土)・26日(日)西区の釣り教室が区民センターで催された。両日とも小学生を中心に中学生や小さな子供連れの親子、「定年後釣りを始めたいので」とのシニアなど多数参加、会場は大いに盛り上がりがあった。

内容は仕掛けの作り方をはじめとしたものであったが、ストローを使った棒ウキ作りが何と言っても目玉。参加者の真剣な取り組みに加え、自分の手で完成した時の「出来た!」と言う大歓声で会場は沸き返った。竿に自分で作った仕掛けと自作のウキをつけ、いよいよ釣りの開始。と言ってもここは室内、目標の所にうまく仕掛けを投入出来れば寄贈されたものを含め豪華賞品がゲット出来ると言った仕組み。参加者全員初心者とは思えない程の腕前で次から次ぎと賞品が渡され初日は時間が過ぎるのも忘れれる中満足感あふれる笑顔で終了した。

翌日は朝方少し雨が降り、参加者の出足が心配されたが、初日同様、多数参加がありました。西区区民センター長の二日間に渡っての釣り教室の締めくくりのご挨拶をもって無事終了、大成功だった。「最後にありがとうございました。この講習会の開催に当たりお世話いただいた多くの方々や賞品等ご協力いただきました各位にこの場をおかりしまして心からお礼申し上げます」

### 親子で楽しむ釣り教室

山崎勝彦



今年で8年目となる泉佐野市「市民海釣り教室」が9月2日と9月9日の日曜日に泉佐野市生涯学習センターで、9月16日日曜日に和歌山マリナーナシテイ海釣り公園で実釣会が開催されました。

北田さんをはじめ南部地区の4名がマナーや仕掛け作りの講習と実釣会のお手伝いに参加いたしました。市民の関心が年々高まる中で今年は、特に、夫婦での参加が目立ち釣りのマナーや仕掛け作りの講義を熱心に聞いていました。

実釣会の当日は、快晴に恵まれ約20名の参加者は市のバスで現地に向い、到着後竿にリールや仕掛けを取り付け餌のアミエビを籠に入れ実釣開始です。最初は竿に糸が絡まったり、餌の詰め方が解らない人達がいきましたが、徐々に慣れました。徐々慣れ魚が掛り出すと真剣になり子供も大人も大喜びでした。

釣果は小型が中心ですが、イサキやアジ、皮ハギ等多種類で時間が「アット」云う間に過ぎてしまいい釣場の清掃をして11時30分納竿といたしました。

受講者の感想は非常に楽しく又来たいという人が多く中には来年も受講しても良いかと聞く人もあり盛況裡に終了いたしました。

# 「魚釣り初体験」

## 「八幡市釣り教室」

中出 隆文

10月21日(日)枚方市清処理場にて、八幡市在住の「障害のある児童・生徒」の学校外活動の取組として「魚釣り教室」が、子供達と保護者が、子供達と保護者が、八幡高校の男女高校生ボランティア10名、八幡市教育委員会職員5名とそれに加えJOFI大阪の吉川会長始め八幡・枚方市在住のJOFIメンバー5名・地元枚方清釣友会6名の約52名にて盛大に行われました。



参加者は釣り場の前にてそれぞれの説明を受けた後、小雨まじりの中、初体験の魚釣りに挑みました。開始後、しばらくするとあちらこちらから悲鳴に近い歓声が聞こえ、5分ほどの小魚から38センチのアフリカ産ナイルテラピア、60センチの大鯉らが次々に釣り上げられ、大物に仕掛けを取られたり、なかには重すぎてリールが巻けず3人掛かりで悪戦苦闘、釣果を前に記念写真や、計寸しより大喜び。子供達は「魚の手心えがグッと来たのが嬉しかった」と笑顔で話し、来年もと再会を約し、無事終了しました。

最後に毎年釣り場を快く提供して下さる大阪府清処理場の職員皆様には厚く御礼申し上げます。

## 「お・み・ら・い・ず」釣り大会のお手伝いをしよう

松尾 勝士

秋晴れの9月29日、大阪府岬町の淡輪ヨットハーバーで、

障害をもつ方を中心とした「第1回バリア釣り(フリー)大会」が開催された。JOFI大阪の高淵 諒事務局長、岩崎正和さん、それから小生と3名で、お手伝いのために参加した。



大阪市住之江区に本部をもつ介助者団体「み・ら・い・ず」(NPPO法人)が、障害をもつ方からの「釣りをしたい」という声を発端に企画されたものである。本来、同ヨットハーバーは釣り禁止となっているところを、特別に許可をもらっての実施である。障害をもつ方(大半は車いす利用者の方)、介助者、ボランティアが、みんな一緒に釣りを楽しもうと、大阪各地や兵庫県から総勢87名の参加者が集まった大会となった。

参加者は8グループに分かれ、マジイワシ等のサビキ釣りでの釣果を競う「釣り大会」と納竿後に拾い集めたゴミの量を競う「クリーンアップ作戦」からなっていた。この作戦はいいアイデアだと感心した。

当初は潮まわりが悪くあまり食いがよくなかったが、「ウォー、釣れた!」という歓声が上がると「どこ誰、何センチ?」という闘志まるだしの声があちこちから上がり大いに盛り上がった。障害をもつ方たちが飽きることなく一生懸命釣りに挑戦している姿に

は大いに感動した。

「み・ら・い・ず」代表の話によると、釣り大会を通して「障害をもつ方にとっても環境を整えれば、釣りによって決して難しいことではない、また自然を相手に遊ぶことの楽しさ、難しさを知ってもらいたい」という気持ちから「バリア釣り(フリー)大会」と名付けられたらしい。

今回の釣り大会は、障害をもつ方たちにとり、また介助者団体にとっても一つの大きな挑戦であり貴重な体験であらうかと思う。

また来年もぜひ参加したいと思った。

## 釣りクラブ紹介

### 「大阪チヌ釣り研究会」

伊藤 雅夫

「人との出会いと和」をモットーに会員の協力で無事故で楽しくチヌを釣ることです。

現在、会員が約100名います。年間行事として、1月に総会(新年会を兼ねる)、月例会が4月、7月及び9月、12月の計8回行われます。又新入会員対象の講習会や月例会優勝者のチャンピオン戦等が代表的なものです。地域別に8班に分け各班が月例会を担当することになっています。参加人数も60名、80名と多く、釣り場の選定に各班長が頭を痛めています。かという私も今年から班長を務めており、7月に無事終わりを迎えているところです。

大阪チヌ研に入会して感じることは非常にマナーが良いことです。常々釣り人の範となるように行動することを聞かされています。月例会はもちろんのこと、会員との釣行においても必ず終了の10分前にかたづけを終え夜の清掃を行い船頭の迎

えを待ちます。次の釣り人の為、又誰れでもが気持ちよく、楽しい釣りができることを会員が心がけています。技量においては毎年、年ナシを10匹以上釣る猛者が数名あり、年間25cm以上のチヌ100匹以上釣る会員が10数名います。又年間で年ナシを1匹以上釣る会員が1/3の30数名います。非常に楽しく、勉強になるクラブです。

## 私の自慢

### 釣免許取得

昭和30年代、熊

本田 隆男

本日新聞釣欄の紙上に「釣免許授与する」との記事を見つけた、胸の鼓動を抑えきれず早々とベンをとる。釣りに関しての姿勢、大会結果、魚拓等を添えて提出したら約1ヶ月過ぎた頃、待望の免許三段を戴き感動したことを思い出す。それからの私の釣行というものは、いかに楽しみなから皆さんと共に、満足できる釣をしたと思う気持ちで、有段者の釣クラブを結成したことを想い浮かべる。現在は、日本釣道指南役九段師範を戴いている。この免許は、肥後藩細川五十万石の釣道指南だった「脇坂司家」脇坂桐之守宗治にさかのぼり、釣道精神を代々受け継ぎ現在五代目脇坂速雄先生に至っている。大半は熊本県人、昭和51年頃有段者は二千人を超えた。県外からの申請も増え現在も急増している。この中には細川護熙(元首相)、アイシヨージの有名人も取得している。「釣道とは、武士道に通ずる。人には迷惑かけず、只無心に糸を垂れ釣を楽しむ。すなわち「只楽」(脇坂司家 語録)



# 近況レポートと会員の声

## 本部の近況

社団法人全日本釣り団体協議会

理事 事務局長 村上芳勝

常勤職員 2名

主たる業務 正会員36団体・連絡機構

21団体・釣りインストラクター2、4

00・非会員37団体

水産庁・47都道府県水産部・食糧庁・

海上保安庁・遊漁関連団体23団体・遊

漁関連製造業者・遊漁関連(卸)小売

店・遊漁関連マスコミ(新聞社・月刊・

週刊・TV局)・非遊漁関連団体・不

特定多数の釣り人(非釣り人)との対

応等、更に社団法人としての「法的事

項」や雑用的なことがらです。

理 念 定款に定められた事項に

ついて毎年度実施していくこと、当然

のこと正会員団体・連絡機構・釣りイ

ンストラクターに対する多様な情報の

提供・要請事項について敏速・正確に

対応していますが小規模人員であるこ

とから対応が出来ていないこともあり

残念にも思っています。

これからも多様な情報を頂き、一層の

勉強..をして期待される事務局にし

いと考えております。

事務局長 岡田敏孝

わたしたちは東京、大阪、愛知に続

いて四番目に平成8年1月、大阪を範

として支部結成をしました。

わたしたちの活動は、連絡機構とし

教室)に分けることができます。

一、イベント

ひとつは、毎年夏に開催してきた「海難事故防止講習会」(全関西磯釣連盟 広島)の第26回を継承する形で、「普通救命講習会」というサブタイトルをつけて、第5回(平均50人)を終了している。

このイベントは、秋の本格的な釣りシーズンを前にして、前半は海難事故とその防止対策についてのシンポジウム、後半は「釣り人全員が救命技術を習得しておくことがパートナーに対するマナーであり、釣り人としての基本マナーなのです」と呼かけて広く一般の釣り人も交えて普通救命講習を受けています。

二つ目は、「釣りの場のクリーンアップキャンペーン」(第4回)です。身近なところから始めよう!釣り場クリンアップ!と呼かけ、一般の釣り人にもボランティアを呼かけ、例年50人以上の方が釣りインストラクターと共に清掃活動を実施している。

三つ目のイベントは、広島県磯釣り術振興会(筆者会長)が日頃の活動を市民のお世話をするボランティアとして「広島市民親子ハゼ釣り大会」(11/3広島市後援)を継続発展させるという形で第13回目(親子200組、1500人参加)を迎えている。

このイベントでは、釣り指導をはじめパトロール、釣り教室、釣り具のオークション等を私達で受持つことで釣りインストラクターにも広く活動の場を提供することになっている。

二、日常活動

一つは、定期的に開催している「釣り教室」(NHK広島文化センター主

催)で毎月第二土曜日に「入門講座」と隔月の第四土曜日に開催している「中級講座」(実習)があります。

二つ目は、第二、四土曜日に各地、教育委員会や公民館の主催する「釣り教室」「魚の料理教室」等に講師を派遣すること、会員の力量を高めている。

その他、毎年4月には、管理釣り場で「レディス・トラウトフィッシングセミナー」をJOFI広島が独自に開催している。

6月28日付、JOFI大阪主催協力行事の参加アンケートはがきに記入されました、ある方(この場合は匿名にさせていただきます)の声の要約と事務局としての考えを述べさせていただきます。

**A氏の声**

① 何回か参加したが、「新参者が参加しにくい」ムードがある。

② 釣り大会等への「粗品の提供を」参加はがきで申し出た事もあったが「無視された」。

③ 会員数を増やす事も大事でしょうが、上部の「幹部だけの自己満足」で終わってませんか、ご一考下さい。

④ 会員方々は全員お手伝いしたいと思っっている筈です。

今から思うと「手伝う」という気持ちから来ているのでは無かるうか。

「手伝う」ではなく、「参加」しようではありませんか。インストラクターとして目的を持った行事・事業の一員となり、行動を共にする事により主体性が生まれ、やり甲斐が出、人の輪も広がって行くのではないのでしょうか。

② 申し訳ありませんでした。大阪府ファミリィ釣り大会は、日本釣振興会の主催で、賞品等は主催者側で用意されていますので遠慮させて頂いたものと思われます。それにしても連絡させて頂くべきでした。

③ 各地区の釣り教室の実約会での賞品等は、我々が頂いた謝礼を当てています。

④ 役員一同自己満足で終わっている人はいないと思います。役員会の改革、インストラクター活動の場開拓、インストラクター活動の活性化等々現在取組中です。

⑤ ぜひ参加お待ちしております。

## 編集後記

今回の広報紙VOL.9号発行は、嬉しい悲鳴、皆さんの絶大の協力で、沢山の原稿が集まり、長時間に渡り編集会議を行いました。全ての原稿を掲載できず、其の為、特集の増刷ページを作りました。次号へ掲載の繰延を行いました。対応させて頂いていただきました。ありがとうございました。今後皆さんの投稿をお願いいたします。

(広報部 濱上 勲)

